

# 第9回ちびマッチ選手権九州大会

大会日程

2020年11月21日(土)～23日(祝・月)

会場

福岡県太宰府市・筑紫野市、佐賀県基山町、等

出場

九州7県の代表32チーム／小学4年生以下

主催：ちびマッチ応援団／後援：筑紫少年野球サンデーリーグ連盟

## 九州大会 前年度優勝

安徳ヤングファイターズ (福岡県那珂川市)



## 九州大会 前年度準優勝

菱形U&U少年野球クラブ  
(熊本県熊本市植木町)



# 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

- 以下の事項に該当する者の参加を認めない。
  - ①平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）、咳、倦怠感などの症状がある者。
  - ②味覚や嗅覚を感じない者。
  - ③同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる者。
  - ④過去14日以内に、感染者の濃厚接触者と特定された者。
  - ⑤過去14日以内に、政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある者。
- 参加者は全員、マスクを持参して着用した上で参加すること。
- 練習中や試合中の選手と試合中の審判は各自の判断で、適宜、マスクを着用すること（体調管理や熱中症予防を第一に考えること）。
- こまめな手洗いやうがい、アルコール等による手指や道具の消毒は各自で随時、行うこと。
- アルコール消毒液や除菌シート等は各チームで持参すること。
- タオルやコップ、ペットボトル等の共有は避ける。
- 唾や痰を吐く行為を厳禁とする。
- ミーティングは極力行わず、行う場合は一定間隔を保って、短時間で行うようにすること。
- 試合前のメンバー表交換は、主将・監督・審判が間隔を空けて集合して行う。握手は行わない。
- 試合の開始時及び終了時の挨拶はホームベースの周辺に集まらず、選手は各ベンチ前に、審判はホームベース後方に整列して行う。握手は行わない。
  1. 大声での応援や会話、指導や指示は避けること。
  2. ベンチ内や応援席では密集・密接にならないよう、一定間隔を保つようにすること。
  3. ベンチと応援席の境界線（2m以上の間隔）を必ず設けること。
  4. 握手やハイタッチ、ハグなどは行わず、各々がより良いコミュニケーション方法を模索すること。
  5. 審判へのお茶出しは、1回で使い切る紙コップ等で行うこと。タオルは出さない。
  6. 飲食をする場合は指定された場所のみで行い、一定間隔を保って対面を避けること。
  7. ゴミ、食べ残し、飲み切れなかった飲料等は必ず、各自で持ち帰ること。
  8. 各会場、及び、各行政団体のガイドラインを確認し、従うこと。
  9. 大会期間中に緊急事態宣言等が出された場合は、大会を中断、もしくは、中止する。
  20. 万が一、感染者が発生した場合には、大会実行委員会に速やかに報告すること。

## ちびマッチ選手権大会 開催要綱

|              |  |
|--------------|--|
| 主催           | ちびマッチ応援団   |
| 主管           | ちびマッチ選手権大会実行委員会（大会実行委員長：ちびマッチ応援団・団長 吉田光寛）  |
| 後援           | 筑紫少年野球サンデーリーグ連盟（大会後援会会長：筑紫少年野球サンデーリーグ連盟・会長 田畑照雄）   |
| 協賛           | ケーブルステーション福岡、三和シャッター工業株式会社九州事業部、<br>ダイワマルエス株式会社、株式会社ブルペンズ、株式会社山一（五十音順、敬称略）   |
| 協力           | NPO法人ふくおかスポーツ応援隊、筑紫軟式CBC（五十音順、敬称略）   |
| 開催主旨         | 一、上級生に比べて試合経験が少ない小学4年生以下のちびっこ選手たちが様々な多くのチームとの試合経験を積み、交流を深められるようにする。<br>二、様々な役割を参加全チーム・参加者全員で責任を持って分担しながら、様々な多くのチームのちびっこ選手たちや指導者・応援団の皆さんとの交流を積極的且つ主体的に図り、深めていける機会を設ける。<br>三、「優勝」や「メダル獲得」、そして、「九州No. 1」といった明確な目標をちびっこ選手たちが持つことによって、野球に対するモチベーションを更に向上し、日々の練習をより懸命に取り組み、野球を今以上に好きになっていくことを図ると共に、野球の普及と振興や部員勧誘にも繋げていく。 |
| 実行委員会<br>チーム | 大野ヤングライオンズ、太宰府ブレーブス、筑紫野サターズ、筑紫ピッキーズ、<br>月の浦フェニックス、二日市ジュニアーズ（五十音順、敬称略）  |

# ちびマッチ選手権九州大会 開催要綱

|       |  |
|-------|--|
| 日程    | 2020年11月21日(土)・22日(日)・23日(祝・月)<br>◇一日目/11月21日(土)：一回戦<br>◇二日目/11月22日(日)：二回戦、三回戦(準々決勝)<br>◇三日目/11月23日(祝・月)：準決勝、決勝、表彰式・閉会式<br>※予備日/11月28日(土)  |
| 会場    | 大佐野(おおざの)スポーツ公園(福岡県太宰府市大字大佐野807番地142外)<br>北谷(きたたに)運動公園(福岡県太宰府市大字北谷941番地1)<br>筑紫(ちくし)運動広場(福岡県筑紫野市諸田172)<br>御笠(みかさ)運動広場(福岡県筑紫野市阿志岐278-1)<br>筑紫野市(ちくしのし)総合公園(福岡県筑紫野市山口382-6)<br>基山町(きやままち)総合運動公園多目的運動場(佐賀県三養基郡基山町大字宮浦666番地)<br>基山(きやま)町営球場(佐賀県三養基郡基山町大字園部2562番地1) |
| 出場選手  | スポーツ保険に加入している小学4年生以下の男女<br>※ユニフォームや背番号が揃ってなくても、試合出場やベンチ入りは可能   |
| 出場チーム | 九州7県(福岡・佐賀・熊本・長崎・大分・宮崎・鹿児島)の代表32チーム<br>☆前年度準優勝=菱形U&U少年野球クラブ ☆福岡県代表=14チーム<br>☆佐賀県代表=5チーム ☆熊本県代表=2チーム<br>☆大分県代表=2チーム ☆長崎県代表=2チーム<br>☆宮崎県代表=2チーム ☆鹿児島県代表=2チーム<br>☆実行委員会代表=2チーム<br>※前年度優勝の安德ヤングファイターズは前年度優勝枠での九州大会出場を辞退(福岡大会から出場)                                  |
| 大会形式  | トーナメント戦  |
| 開会式   | 新型コロナウイルス感染症等の状況を考慮し、開催可否の判断を行う(後日に改めて連絡)  |
| 大会冊子  | 大会一日目に配布予定   |
| 試合球   | ダイワマルエス軟式J号試合球 ※大会実行委員会で準備する   |
| 審判    | (一・二回戦)出場チーム ※2名ずつのご協力をお願いします<br>(三回戦以降)大会実行委員会チーム、全軟審判員など外部依頼審判   |
| 参加費   | 1チーム8,000円<br>※支払い方法は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮して後日に連絡  |
| 表彰    | ☆優勝/優勝カップ、優勝トロフィー、賞状、金メダル(15個)、副賞<br>☆準優勝/準優勝盾、賞状、銀メダル(15個)、副賞<br>☆第三位(2チーム)/賞状、銅メダル(15個)、副賞<br>☆最優秀選手賞(1名)/賞状、副賞<br>☆敢闘賞(3名)/賞状、副賞  |



## ちびマッチ オリジナルルール

(詳細は次項の開催規則を参照)

- ①1試合：5回70分。
- ②バッテリー間：14m、塁間：21m。
- ③投球制限：一人一日1試合(一人1試合5回)まで。

## 開催規則

※指導者の皆さんだけでなく、選手や応援団の皆さんもご確認下さい。

※本大会は、本大会の開催規則、及び、2020年度日本公認野球規則（少年野球に関する事項）・全日本軟式野球連盟学童細則に則って行う。

- ①試合に出場することが出来る選手は、スポーツ保険に加入している小学4年生以下の選手とし、各試合の開始予定時間15分前に交換するメンバー表に記名された選手のみとする（各試合ごとのメンバー表が最優先）。
- ②ベンチに入れる選手の人数制限は設けない。その試合のメンバー表に記名された選手は全員がベンチに入ることが出来る。しかし、大人の人数は、代表者1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・選手の体調管理を行うお母さん2名の計7名以内とする（全て性別は問わず、代行者でも可）。  
※ベンチと応援席との境界ラインはきちんと守ること。  
※ベンチからの撮影は一切禁止する。
- ③選手や指導者は各チームで統一された、背番号付きのユニフォームを全員が同じように着用することが望ましい。しかし、「ちびマッチ」では一人でも多くの選手や指導者が試合に出場することが出来たり、ベンチに入ることが出来たりすることを最優先とするため、ユニフォームがまだ全ては揃っていない選手や指導者、背番号が付いていないユニフォームを着用した選手や指導者の試合への出場やベンチ入りを可能とする。  
※背番号の数字については、選手・指導者共に問わない。
- ④全ての試合は5回までとし、70分を越えると新しいイニングには入らないこととする。  
※1分でも残り時間があれば、新しいイニングに入る。  
※試合成立の条件は、4回を終了した場合、もしくは、開始後55分を経過した場合とする。  
※時間厳守を全員徹底し、グラウンド上は選手も指導者も常に全力疾走を心掛けること。  
※選手たちには「時間を気にすること」や「時間を守ること」、「全力疾走の大切さ」などを学び、上記の各規定内で試合が出来るように努めてほしいと思っております。ですので、指導者や応援団の皆さんも、ご理解とご協力を宜しくお願い致します。  
（例：必要以上にタイムを取らない、選手をむやみにマウンドに集めない、すぐにサインを出す、頻繁に打者を呼び寄せない、プレーを止めてしまう声掛けを応援席からしない、等）
- ⑤上記④の規定内で勝敗が決しない場合は、特別延長戦（無死満塁、打者継続、選手交代可）を1回だけ行い、それでも同点の場合は、最終出場9名によるジャンケン（5勝先勝）によって勝敗を決する。
- ⑥全試合、点差によるコールドゲームは無しとする。
- ⑦バッテリー間は14m、塁間は21mとする。
- ⑧同一投手の投球制限は、1日1試合まで（1試合最長6回まで）とする。特定の選手のみを負担をかけ過ぎないようにするため（投手の体を守るため）、また、一人でも多くの選手にピッチャーの経験を積ませるため、1日2試合以上の投球は、たとえ回数が少なくても禁止する。  
※1球投げて交代しても、1回・1試合としてカウントする。  
※特別延長戦での投球もカウントする。
- ⑨試合中の投手の準備投球（ピッチング練習）は登板直後は7球以内、以降は3球以内とする。  
※投手の準備投球（ピッチング練習）を含む攻守交替は全力疾走で速やかに行うこと。
- ⑩投手がボークと見なされる行為を取った場合は同一試合・同一投手に限り、一度目は注意としてランナーを元の塁に戻し、二度目からは勉強のため、通常のルール通りにボークを宣告することとする。  
※ボークの場合、審判は、「なぜボークなのかの理由」と「正しくはどうすれば良いか」をその投手にその場できちんと伝えること。  
※2段モーションもボークの対象とし、上記の対応を取る。  
※申告敬遠は取り入れないこととする。
- ⑪選手がホームランを打った場合、その直後にボール交換の希望を申し出て、代替りの新しい試合球（ダイワマ

ルエス軟式J号試合球)を出せば、そのホームランボールと交換して、打った選手にプレゼントできる。

- ⑫審判の判定は絶対とし、判定に関する抗議や質問等は一切認めない。当然、暴言・野次等も厳禁とする。しかし、ルールに関する質問のみは監督（監督不在の場合は監督代行のコーチ）一名だけが出来ることとする。ただし、その者の質問するマナーが悪い場合、審判はその者に退場を宣告できる。
- ⑬応援は必ず所定の位置で、マナー良く行うこと。特に、相手チームや審判に対する暴言・野次・抗議等（「落とせー！！」「捕るなー！！」「今の判定はおかしい！！」等）やスポーツマンシップに反する行為等は決して行わず、常に選手たちのお手本となる様にする。そして、再三の注意にも反して違反行為を続けた場合は審判や主催者の判断により、その当該者を試合から除外することや没収試合とすることも出来る。
- ⑭試合後のグラウンド整備やライン引き等は、その試合を行った両チームで協力して行う。そして、ベンチや応援席を離れる時はその度に清掃を行い、使用前よりもきれいにしゴミ等を一切残さないこと。
- ⑮グラウンド内では、禁煙とする。喫煙が可能な場所で喫煙をした後は、各個人が責任を持ってその場をその度にきれいに清掃し、歩きタバコやポイ捨ては絶対にしないこと。
- ⑯試合中や練習中、また、移動中に事故や怪我等が生じてしまった場合は各チームで全ての責任を持ち、速やかに、しかるべき処置を行うこと（主催者は一切の責任を負わない）。

※各チームで、選手の保険証（コピー）を持参しておくことが望ましい。

◆ご不明な点等があれば、責任者／大会実行委員長：吉田に、いつでも・お気軽にお問い合わせ下さい。